書いてみよう

年　組　名前

この夏も、猛暑日、国内最高気温の更新、熱中症危険度、ダムの貯水率０パーセント、記録的大雨、土砂災害警戒レベルなど、気象に関わるさまざまな言葉が聞かれます。

これらの異常気象に対して、あなたは日ごろからどのようなことに取り組んでいますか。下の条件に合わせて書きましょう。

防災気象情報

早期避難へ小まめに確認

記録的大雨による被害が全国各地で発生している。県内でも毎年のように大雨災害が発生している中、秋田地方気象台は防災気象情報の活用や早期避難を呼びかけている。

現在、秋田地方気象台の統括予報官を務める野口利世さん（上小阿仁村出身）に、今年の出水期（※）の気象状況の見通しや防災気象情報の活用法などについて聞いた。

―県内の出水期の見通しは。

「降水量はほぼ平年並みだが今年は気温が高くなる予想。気温が高いと空気中に含まれる水蒸気の量が多くなり、大雨になりやすい状況となる。今年も県内で大雨災害が発生する可能性が高いと考え、すぐに避難できるように備えてほしい」

―気象台が発表する防災気象情報とは。

「週間天気予報や5日先までの警報級の大雨の可能性を確認できる早期注意情報のほか、注意報や警報、特別警報など段階的に発表され、気象台のホームページで確認できる。ほかにも、土砂災害や浸水、洪水の危険度が高まっている場所を地図上でリアルタイム（※）で確認できるキキクル（危険度分布）などもある」

―防災気象情報の活用や避難について呼びかけたいことは。

「特に高齢の方は大雨が降り始める前に避難してほしい。避難が難しい時は、自宅の2階など少しでも高い場所に上がる『垂直避難』でもいい。河川の上流で大雨が降った時に下流で一気に水位が上がることもあり、自分が住んでいる場所以外の情報にも敏感になることも重要だ。雨が弱まってきた後に土砂災害が発生することもある。気象台では防災気象情報を段階的に発表しているので、小まめな情報の取得を心がけてほしい」

※【出水期】梅雨や台風による大雨などの影響で河川が増水しやすい時期のこと。

※【リアルタイム】同時であること。直ちにできること。

〈秋田魁新報2025年6月29日付より。記事は手直ししています〉

条件

- 身の回りに起きている異常気象に対する具体的な取り組み（暑さ対策、環境保全など）を書くこと。
- 百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。
- ◆の印から書き始め、改行をしないで続けて書くこと。

題名

◆

100字

120字

出題・監修：小松尚子（元秋田県教育専門監）